

## 目次

はしがき	i
略語一覧	vi
<b>第1章 大国間競争に直面する世界</b> コロナ禍の太平洋と欧州を事例に	2
1 分断か、多元化か	4
(1) 世界政治の変容と新型コロナ危機	4
(2) 多元的な世界?	7
2 豪中競争と南太平洋	10
(1) 南太平洋の多元的秩序	10
(2) 豪中関係の悪化	18
3 欧州・中国関係の変遷と現在——「戦略的自律」の多義化	22
(1) 関係の始動と発展	22
(2) 欧州の対中姿勢の再考——諸要因の中の新型コロナウイルス感染症	25
(3) 多義化するEUの「戦略的自律」	29
(4) 米中関係におけるEUの行動様式	34
<b>第2章 中国</b> コロナで加速する習近平政権の強硬姿勢	50
1 コロナで危機感を強める習近平政権	52
(1) 感染拡大で高まる政権批判	52
(2) 巻き返しを図る習近平指導部	54
(3) さらに高まる習近平の政治的権威	57
2 行き詰まる「一国二制度」	58
(1) 香港における「一国二制度」の形骸化	58
(2) 「一国二制度」を拒否する台湾	61
3 「新冷戦」へ向かう中国	65
(1) 激化する米国との対立	65
(2) 各国との対立を招く強硬外交	68
4 活動を強化する人民解放軍	71
(1) コロナ禍における軍の行動	71
(2) 続く海洋での強硬姿勢	73

<b>第3章 朝鮮半島</b> 揺れる南北関係	80
1 北朝鮮が主導する南北関係	82
(1) 北朝鮮による脅し	82
(2) 北朝鮮との関係改善を求める文在寅政権	85
2 南北が選択する軍事力	88
(1) 北朝鮮——脅しの継続	88
(2) 韓国——米中のはざま	91
<b>第4章 東南アジア</b> ポスト・コロナの安全保障課題	102
1 新型コロナウイルスと東南アジア	104
(1) 各国の感染状況の現況	104
(2) 国家運営上の問題	106
(3) 地域外交上の課題	109
2 南シナ海問題と東南アジアの安全保障動向	111
(1) 各国の対応——衝突の回避と対抗手段	111
(2) 米中による南シナ海での活動——展開能力とプレゼンスの強化	118
(3) ASEANでの外交的取り組み	120
3 各国の海上戦力強化に向けた取り組み	124
(1) マレーシア・ベトナム——国内生産基盤確立への取り組み	124
(2) フィリピン——軍近代化プログラムの見直し	126
(3) インドネシア——水上艦艇の増勢	127
<b>第5章 ロシア</b> ポスト・プーチン問題と1993年憲法体制の変容	134
1 憲法体制の変容——憲法修正プロセスと新内閣の発足	136
(1) 2020年憲法修正の要諦とポスト・プーチン問題	136
(2) ミシュースチン新内閣の発足と執政中枢の変容	141
(3) コロナ対策に直面したプーチン政権——対外緊急支援と国内の感染爆発	142
2 対外政策——ロシアを取り巻く戦略環境	145
(1) 「核抑止分野におけるロシア連邦国家政策の基礎」の承認と軍備管理問題	145
(2) ナヴァリヌイ事件と露欧関係	147
(3) 転換期の日露関係	148

3	新型コロナウイルス感染症対応と能力向上を図るロシア軍	150
	(1) 新型コロナウイルス感染症対応とロシア軍	150
	(2) 継続する軍改革と軍事態勢の強化	153
	(3) 対外軍事協力の強化と拡大を目指す武器輸出	157
<b>第6章</b>	<b>米国</b> コロナ危機下の米国の安全保障	166
1	トランプ政権の対中戦略の展開	168
	(1) トランプ政権における「中国脅威」認識	168
	(2) 中国による「影響工作」への対応	172
	(3) 中国人権問題に対する制裁強化	178
2	2018年国家防衛戦略の具体的展開	183
	(1) 「大国間競争」における国防	183
	(2) インド太平洋への戦力展開	187
3	2020年大統領選挙と政権移行	193
	(1) 一般投票をめぐる法廷闘争	193
	(2) 連邦議会議事堂襲撃事件の衝撃	205
<b>第7章</b>	<b>日本</b> ポスト・コロナの安全保障に向けて	218
1	新型コロナウイルス感染症対策における防衛省・自衛隊の役割	220
	(1) 自衛隊による支援	220
	(2) 感染症対策における自衛隊の役割	221
2	署名から60周年を迎えた日米安保条約	224
	(1) 共有する価値に基づく同盟	224
	(2) 日米同盟を中心とする安保協力の深化	228
3	多次元統合防衛力の実現への課題	233
	(1) 「領域横断作戦」能力向上への取り組み	233
	(2) 新たな戦闘様相に向けた課題	236
<b>執筆者紹介</b>		243